

### 事業評価シート【新規事業-1】

事業名	テレワーク環境推進事業			基本計画	節	3	総合戦略	基本目標	3
事業コード					テーマ	4		施策の方向	1
課係名	商工観光課	内線			施策	1		施策	
担当者氏名		職名			主な施策展開	1		整理番号	

事業実施の経緯(現状)	令和3年度、茂原市総合市民センター及び茂原ショッピングプラザアスモにおいて、無線LAN環境の整備を行い、コワーキングスペースの実証事業を実施した。そのアンケートでは、ネット環境の整備された場所の有用性が認識できたとともに、さらに増えているオンライン会議にも対応できる防音された設備の必要性を求める意見もあった。
めざす姿・ねらい(目標・目的)	管財課が市庁舎1F旧アゼリアの厨房部分を撤去し、フリースペースに改修する工事を行うこととしている。本事業では、そのフリースペースに情報通信技術(ICT)を活用した環境を整備することにより、時間や場所を有効に活用し、安心して自由で柔軟な働き方の提供をすることを目的とする。
実現するための課題(問題点)	①多人数接続でも快適で安定した無線LANによるインターネット環境の整備 ②オンライン会議の増加による「会議室不足」や「周囲の雑音等」などの問題の解消
具体的な取組(解決策)	①無線LANによるインターネット環境の整備(アゼリア内アクセスポイント2か所及び管理機器、市民室アクセスポイント1か所) ②ワーキングスペース(クローズ型ワークブース)を3台設置

主要指標	指標の種類		指標及び目標値(目標)の考え方	目標値(目標)		
	名称			4年度	5年度	6年度
■活動指標	①	インターネット環境整備		1式	-	-
	②	ワークブース設置台数		3台	-	-
■成果指標		ワークブース利用者数	1日当たり5人×20日×12か月	50 (3月中の10日間程度を想定)	1,200	1,200

実施根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令計画名	①	②	
			③	④	
		補正予算要求理由	千葉県テレワーク環境モデル事業補助金を活用するため		

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:無期	後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 複数年度:有期	[ 始期 ~ 終期 ]	内容	回線使用料

事業費の積算(千円)	年度	事業費	国県	市債	その他	一般財源	人工数	人件費	年月	内容
									4年度	ワークブース購入 5,874千円 無線LAN整備 1,904千円 光回線設置 21千円 回線使用料等(8千円×3か月) 22千円
5年度	回線使用料等(8千円×12か月) 88千円	88				88		4.8	事業実施の内定(県) 補助金交付申請 補助金交付決定(県)	
6年度	回線使用料等(8千円×12か月) 88千円	88				88		4.9	事業開始 入札	
								5.3	環境整備	

## 事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会環境や市民ニーズと整合があるか。</li> <li>・市が事業を行うことについて妥当であるか。</li> </ul>	
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)	
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	新型コロナウイルス感染症の影響などにより、働き方が多様化しており、時間や場所を有効に活用し、安心して自由で柔軟に働ける場所の提供が求められている。	
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。</li> <li>・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。</li> </ul>	
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)	
	A	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	総合計画第3節産業振興の雇用の充実における「個別の家庭状況やライフステージに応じた柔軟な働き方」の達成のための環境の提供となる。	
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。</li> <li>・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。</li> </ul>	
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)	
	A	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	千葉県テレワーク環境モデル事業補助金及び国の新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の活用により、効率的に事業が実施できる。また、リーススペースの一部を民間事業者が活用した場合、リーススペースの価値が向上し、相乗効果が期待できる。	
	4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・県補助等の見通しはどの程度までであるか。</li> <li>・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。</li> </ul>	
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)	
	A	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	設置に係るイニシャルコストについては、千葉県テレワーク環境モデル事業補助金及び国の新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の活用により、負担がない。リーススペース管理運営(予定)の民間事業者との協議によりランニングコスト軽減の可能性が有る。	
	総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
		評価		◎評価理由
		B	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	使用料の徴収検討と、関係課との調整しながら実施する。
		■政策調整会議による評価		
評価			◎評価理由	
B		A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	使用料の徴収及び使用上のルールを検討をすること。	
■庁議による方針				
評価		具体的な方向性		
A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	担当課の提案どおり実施するものとする。		